

【保護者：アプリ配信】 【地域：回覧配付】



学校便り

佐渡市立金井小学校 令和6年6月25日 第4号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail : kanai-es@sado.ed.jp

佐渡からオリンピックへ

校長 藤井 衛

この夏オリンピックパリ大会が開催されます。東京大会は無観客でしたが、今回は声出し応援もありの大会となりました。楽しみです。

佐渡出身のオリンピック選手を2人紹介します。一人目は、体操の選手としては日本初の選手で参加した本間茂雄(シゲオ)さんです。1932年、ロサンゼルスで開催された第10回のオリンピックに出場しています。その後、日本の体操指導者となり、教え子たちがたくさんのメダルを獲得しています。実は、夏のオリンピックで日本が最も多くのメダルを獲得しているのは体操競技なのです。茂雄さんの息子の二三雄(フミオ)さんも体操競技の選手でした。二三雄さんが開発したつり輪の「ホンマ」という技の名は今でも残っています。

二人目は、齋藤兼吉(カネキチ)さんです。1920年、ベルギーのアントワープで開催された第7回オリンピックに出場しました。齋藤さんが、すごいのは水泳競技と陸上競技の両方でオリンピック選手に選ばれていたことです。二刀流ですね。当時は、船での移動のため、疲労がたまり、陸上をあきらめて、水泳競技に集中したそうです。結果は、クロールという泳ぎ方を知らなかったため敗れたそうです。齋藤さんは、その後、日本に帰らず、ヨーロッパに1年間とどまり、必死でクロールを覚えしました。その技術を日本に伝えたと言われています。それから100年後の今でもクロールより速い泳ぎ方は見つかりません。

近い将来、佐渡(金井小学校の卒業生)からオリンピック選手が出て、メダルを獲得することを期待しています。

